

第6回親善バレーボール大会 赤門杯

～医療法人社団 慶勝会～

日時：2014年5月18日(日)9：20～18：00

場所：場所：千葉県立館山運動公園（館山市藤原 300）

5月18日(日)赤門整形外科内科を運営する医療法人社団慶勝会（以下、慶勝会）主催の親善バレーボール大会赤門杯が、館山運動公園にて行われた。

赤門ヘルスケアグループの名を冠したこの大会は慶勝会有志を中心に、徐々にその輪が広がり、現在では館山・南房総地域の病院の他、千葉中央メディカルセンター（千葉市）やセコメディック病院（船橋市）など県北の医療機関が参加するまでになった。

当日は14チームが3つのリーグに分かれ、激戦を繰り広げた。1部リーグでは、相手の意表を突く速攻攻撃や相手を翻弄する多彩なトス回し、相手コート目掛けて打ち込む強烈なジャンピングサーブ、粘り強いレシーブや要所要所でのブロックポイントなど、高度な技術を有する参加者のプレーに魅せられ、どの試合も見応えのある熱戦となった。

1部リーグ2連覇を目指すTeam KAMEDA A（亀田総合病院・鴨川市）と昨年準優勝の慶勝会Aとの一戦は、慶勝会Aが雪辱を果たし、1部リーグ全勝で優勝に返り咲いた。準優勝は慶勝会Bで、Team KAMEDA Aは第3位。

2部リーグは優勝の行方が最終試合までもつれ込む激戦の末、穩寿会（千葉市）が優勝、復光会A（船橋市）が準優勝。3部リーグはエビハラ病院B（鴨川市）が全勝で優勝、復光会B（船橋市）が準優勝。

また、試合の様子はリアルタイムで慶勝会のホームページで公開され、参加者の巧みなプレーの数々を紹介した。参加者からは「自分達のプレーする姿を画像で見ることがなく、素敵な贈り物を頂くことができました。ありがとうございます。」という声が寄せられた。

実行委員会では「今後も有志の輪を広げ、交流を深めていける大会になるように盛り上げていきたい。」と話している。



（スパイクの様子）



（ブロックの様子）



(レシーブの様子)



(優勝会集合写真)



(優勝決定時の様子)

以上

赤門杯は今回で6回目の開催となり、遠くは千葉市や船橋市のチームも参加する大会になりました。バレーボールを通じての交流が深まっています。地域情報の一つとして取り上げて頂けたら幸いです。

ご協力のほど、何卒、宜しくお願い致します。